

I 令和6年度公益財団法人佐野市民文化振興事業団事業計画 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1. 基本方針

平成6年設立の当事業団は、平成24年4月1日に「公益財団法人」になり、多くの方々のご理解ご協力のもと、令和6年3月8日に設立30周年を迎える。

社会の成熟化とともに文化的な営みを人々は求めつつあり、当事業団が果たすべき役割はますます重要なものとなってきている。そのため、時代に即した文化支援を積極的に進めるべく、令和3年度に専属職員の任用と事務局の独立を果たし、併せて課題となっていた事業領域の拡大を図った。その後、「文化財の調査・整備・活用事業」も公益事業として行政庁から認可され、令和4年度より唐沢山城跡調査整備事業の一部を佐野市から受託した。さらに、令和5年度からは、職員体制を整えて佐野市郷土博物館指定管理業務を開始している。

令和6年度は、5年度に続き基本財産運用益の増加も見込まれることから、体制整備を進め新たな企画実施により、基本理念である「すべての市民が優れた文化環境のもとで、うるおいと活力のある生活を営める地域社会の実現」を目指し、更なる事業展開を積極的に図る。また、令和6年は設立30周年を迎えることから、多くの方が気軽に鑑賞できる記念コンサートを開催する。

2. 公益目的事業

【1】芸術・文化に触れる機会を提供することを目的とした鑑賞、企画展共催事業、講座

舞台や演奏会などの鑑賞事業や文化・芸術に関する講座等を実施し、一方で地域の美術館や博物館等と共催するなどして、広く市民へ芸術・文化に触れる機会を提供する。また、市民がそれぞれの立場で文化的営みを行い、自己実現を図り、活力のある地域社会の文化的創造に寄与できるよう、セミナーなどを通して活動を支援する事業を実施する。

1. 芸術・文化鑑賞事業

地域における文化的環境の醸成と市民生活の充実、地域社会の文化的発展を目指して、身近な場所で芸術・文化を鑑賞できる事業を実施する。

(1) 設立30周年記念コンサート

事業団設立30周年を記念し、多くの市民が気軽に鑑賞できるコンサートを開催する。地域ゆかりの音楽家の出演、市民協働による取り組みにより、当事業団の理念や活動をより多くの方に知っていただく機会にもする。

- ・内容 ピアノアンサンブル、市内音楽団体による演奏等
- ・期日 令和6年5月4日(土)
- ・場所 葛生あくとプラザ

(2) 美術館・博物館コンサート

美術館・博物館等と演奏者をコーディネートし、市民に生の音楽を気軽に鑑賞する機会と併せて、美術品鑑賞や歴史資料見学の機会を提供する。実施場所や時期及び出演者は、友の会等と協働しながら交渉し決定する。

(3) コンサートオンライン配信

開催したコンサート等の模様を当日鑑賞できなかった多くの人にも鑑賞できるように、後日、ホームページ上でオンライン配信し提供する。

2. 美術品・歴史資料展示及び企画展共催事業

地域の博物館・美術館・文化施設等と連携しながら、芸術・文化や歴史をテーマに良質な美術品や貴重な資料などを企画展示し、市民の興味関心を高め、郷土への理解や愛着を深める事業を実施する。

(1) 郷土博物館企画展共催

史跡指定10周年を記念し、「戦国時代を生き抜いた佐野氏と唐沢山城（仮）」と連携して開催する。一般市民向け展示解説冊子を発行し、郷土の歴史や文化財に関する関心と理解の促進を図る。冊子は市内学校、図書館等へ配布し活用を図る他、一般の企画展見学者や希望者へも頒布する。

3. 芸術・文化講座及び体験・人材育成セミナー

芸術・文化に対する興味関心の醸成と市民意識の高揚、市民自らの主体的な文化活動を促進するため、講座やセミナーを実施して芸術や文化に関する志向性の浸透を図り、文化活動を担う人材育成のための事業を実施する。

(1) アートプロジェクト

日頃、絵画や作品づくりをする機会がない青少年から大人を対象に、自ら作品を制作する面白さを体験し、文化活動へのきっかけづくりとする。

- ・テーマ「絵画入門講座（仮）」（8月・全2回講座）

(2) 佐野再発見専門講座

佐野の歴史や文化・芸術に関するテーマから、地域の魅力や奥深さを再発見する講座を実施する。令和6年は、唐沢山城跡の国指定史跡化10周年にあたるため、秋の企画展と連動したテーマで実施する。

- ・テーマ「唐沢山城（仮）」（時期は調整、全3回講座）

(3) 文化活動セミナー

文化活動に興味がある人を対象に仲間づくりや友の会メンバーとの交流を図り、活動のきっかけづくりとなるセミナーを実施する。

- ・テーマ「新たな出会いから生まれる豊かさ」（7月・全3回講座）

(4) ミレニアル世代講座

これまでの講座では参加者が少なかった主にミレニアル世代と言われる20代から40代の方たちを主な対象に新たな講座を実施する。内容は、インスタグラムで投票形式にして企画段階から興味関心を促す。

- ・テーマ「みんなで作るサノブンカ体験講座」(時期・回数は調整)

(5) 子ども佐野文化発見講座

子どもと保護者を対象に、郷土の歴史や伝統文化の魅力を学び、そして子どもが大人たちと協力してものづくりを体験する機会を提供する。

- ・テーマ「伝統の鬼瓦づくりを知り、体験しよう！(仮)」(8月)

(6) 文化活動フォローアップ

文化活動セミナー修了者や事業団友の会に対して文化活動支援を行う。主体的な担い手による自主的な文化活動の取り組みや、博物館を含めた事業団が進める事業への参画等による市民の文化活動を支援する。

友の会では、定例会やフィールドワーク等を5年度に引き続き実施する。令和6年度は、友の会独自の新たな実施企画について積極的に支援する。

【2】市民の芸術・文化活動や伝統文化の保存・人材育成を担う団体に対する助成・支援事業

市民の文化的な活動や歴史・伝統に根ざした文化の継承・人材育成を支援することで、芸術・文化の振興・促進を図る事業である。

1. 地域の芸術・文化振興活動事業育成助成金

市内で芸術・文化活動を行っている団体が主催する地域文化の向上を目的とする事業で、団体活動の特色を活かし、個性豊かな地域文化を創造する事業が該当する。

2. 地域伝統文化保存育成事業活動助成金

国、栃木県、佐野市の指定となった伝統文化の保存や民俗文化財の継承、団体の育成を目的とした事業が該当する。

【3】文化財の調査・整備・活用・博物館事業

佐野市内には、後世に伝えるべく史跡や貴重な歴史・文化遺産が多数所在しているため、佐野市が進める史跡整備や歴史・文化遺産の掘り起こしと活用に取り組み、佐野市郷土博物館の指定管理業務を担う利点を有効に活用して、資料収集や調査・研究の成果を市民に広く還元し、本市の歴史・文化的環境の醸成を図る事業である。

1. 文化財の調査・整備・活用事業

唐沢山城跡の調査整備受託事業を中心に業務を実施する。国指定史跡が対象のため、文化庁や県教育委員会からの指導を受ける市教育委員会文化財課と綿密に連携して一連の業務を進める。併せて史跡活用の際に歴史的背景を探ることも必要なため、唐澤山神社等に伝わる史料調査を継続する。

- ・本丸西虎口石垣の解体調査から積直し工事までの整備報告に向けた史跡の評価、調査資料の整理、報告書原稿の作成
- ・二の丸内発掘調査、二の丸の復旧基本計画案の検討
- ・本丸石垣カルテ作成等の調査に対する技術的指導及び作業支援
- ・唐沢山城跡関連史料調査

2. 博物館事業

令和5年度から3年間、指定管理者として佐野市から受託している佐野市郷土博物館の管理運營業務について、協定に基づき実施する。

博物館資料の展示・活用については、企画展やテーマ展のみならず常設展にも反映させるなど広く市民へ公開し、講座や講演会なども実施しながら、郷土の歴史・文化に対して興味関心や理解を深める機会を提供する。また、学校教育との連携を図りながら、青少年の学習を積極的に支援する。

令和6年度は指定管理2年目となり、子どもたちをはじめ様々な方にとって、よりわかりやすく親しみやすい博物館を目指し工夫・改善を図る。

(1) 資料の収集・保存及び管理

資料の収集、収蔵資料の適正な保存と管理を行う。

- ・田中正造顕彰事業として、田中正造関係資料の購入を進める。

(2) 資料の展示

季節ごとに企画展等を開催し、常設展示は適宜展示替えを行う。

- ・収蔵資料展「佐野の遺跡」（4月～7月）
- ・企画展 「天明鋳物生産用具展（仮）」（7月～9月）
- ・企画展 「戦国時代を生き抜いた佐野氏と唐沢山城（仮）」
及び企画展記念講演会等（10月～12月）
- ・収蔵資料展「くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～」
（1月～2月）

(3) 博物館学校利用推進

市内小学校・義務教育学校全校に対し博物館学校利用学習を支援する。

（対象人数 約2,600人）

- ・6年生「歴史学習」（5月～7月）
- ・4年生「郷土につくした人々」（10月～11月）
- ・3年生「くらしのうつりかわり」（1月～2月）

(4) 展示解説ボランティア活動

学校利用の学習支援等において、ボランティアによる展示解説の活動を進める。また、ボランティア講座を開催し活動の担い手を育成する。

(5) 各種講座

一般市民を対象にした講座を年間通して実施する。

①「田中正造に学ぶ」(5月)

正造に関する講演、史跡やゆかりの地を見学

②「縄文ペンダントをつくろう」(5月)

縄の文様を粘土に押し、ペンダントを作成

③人形劇プロジェクト 演目「藤原秀郷むかで退治」

藤原秀郷にまつわる人形劇制作(6月～)・上演(10月)

④「古文書入門講座」(6月)

近世文書の読み方を学び、簡単な古文書を読む体験

⑤「佐野の民話を楽しもう」(6月)

市内に伝わる民話や昔話の民話語りを楽しむ。

⑥「立体きりおりがみ講座」(7月)

一枚の紙から昆虫や生き物などを作るクラフト体験

⑦「栃木県立博物館へ行こう」[県立博物館協力事業](7月)

県立博物館へ行き、県内の自然や歴史について学ぶ。

⑧「まが玉を作ろう」(7月)

まが玉づくりを通じて、古代人の生活に触れる。

⑨「展示解説ボランティア講座」(11月～1月)

解説活動の担い手養成を図る講座

⑩「てん刻講座」(11月)

石材の印作りを体験する講座

⑪「火起こし体験」(12月)

古代の方法で火起こしを体験する講座

⑫「石器づくり」(時期未定)

原石から石器づくりを体験する講座

(6) 外部への協力

学芸員実習や職場体験、関係機関等からの協力依頼に対応する。

- ・学芸員実習(養成課程に学ぶ大学生対象)(12月)
- ・中学生マイ・チャレンジ事業(市内中学生)
- ・インターンシップ(市内高校生・大学生)

その他、公立の登録博物館として必要な調査・研究・情報提供等を行う。

【4】 芸術・文化に関する情報収集・提供事業

1. 事業団報の発行

事業団報『かがやき』第30号を9月1日に発行し、事業団の活動内容や業務実績を広報する。(46,000部発行、市内全戸・公共施設等に配布)

2. ホームページ等による情報発信

ホームページやSNSの活用を積極的に進め、事業団活動の紹介や情報、友の会活動の様子等も適宜発信し広くPRする。

【5】 各種団体事業への後援

各団体等が実施する事業について、団体からの申請に基づき、適当であると認められた活動を後援する。

後援については名義使用に留まり、資金・物資・人的援助等を行わない。

令和6年度 公益財団法人佐野市民文化振興事業団 事業予定一覧

実施	事業名および内容	摘 要
4月	令和5年度事業・決算監査	会場：郷土博物館
	博物館収蔵資料展 「佐野の遺跡」(~7月)	会場：郷土博物館企画展示室
5月	第1回通常理事会	会場：郷土博物館
	定時評議員会	会場：郷土博物館
	設立30周年記念コンサート	期日：5月4日(土) 会場：葛生あくとプラザ
	博物館利用推進事業：小学6年生 「歴史学習」(~7月)	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
	博物館講座 「田中正造に学ぶ」 「縄文ペンダントをつくろう」	会場：郷土博物館等
6月	博物館講座 「人形劇プロジェクト」(~10月) 「古文書入門講座」 「佐野の民話を楽しもう」	会場：郷土博物館等
7月	文化活動セミナー	会場：郷土博物館等
	第1回事業検討委員会	会場：郷土博物館
	博物館企画展(~9月) 「天明鋳物生産用具展(仮)」	会場：郷土博物館企画展示室
	博物館講座 「立体きりおりがみ講座」 「栃木県立博物館へ行こう」 「まが玉を作ろう」	会場：郷土博物館 栃木県立博物館等
8月	アートプロジェクト	会場：市内
	子ども佐野文化発見講座	会場：市内
	経営状況の報告	報告：佐野市議会(9月議会)
9月	事業団報『かがやき』30号発行	配布：市内全戸、公共施設等

10月	博物館企画展（～12月） 「戦国時代を生き抜いた佐野氏と 唐沢山城（仮）」及び記念講演会	会場：郷土博物館企画展示室 及び講座室等
	博物館企画展 展示解説冊子発行	配布：市内学校、図書館等
	博物館利用推進事業：小学4年生 「郷土につくした人々」（～11月）	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
11月	第2回事業検討委員会	会場：郷土博物館
	博物館講座 「展示解説ボランティア講座」 「てん刻講座」	会場：郷土博物館
12月	博物館講座「火起こし体験」	会場：郷土博物館
1月	博物館収蔵資料展 「くらしのうつりかわり」（～2月）	会場：郷土博物館企画展示室
	博物館利用推進事業：小学3年生 「くらしのうつりかわり」（～2月）	会場：郷土博物館 対象：市内全小学校
2月	第2回通常理事会	会場：郷土博物館
	臨時評議員会	会場：郷土博物館
3月	第3回事業検討委員会	会場：郷土博物館
年間	唐沢山城跡調査整備受託事業	場所：唐沢山城跡内及び 郷土博物館等
	美術館・博物館コンサート	会場及び時期：調整
	コンサートオンライン配信	時期：適宜
	佐野再発見専門講座「唐沢山城（仮）」	会場及び時期：調整
	ミレニアル世代講座	会場及び時期：調整
	文化活動フォローアップ	期間：通年
	文化活動及び伝統文化団体助成	対象：該当団体
	ホームページ等による情報発信	期間：通年
	博物館 ・資料収集、展示、保存及び管理 ・寄託資料・借用資料の更新 ・考古・歴史・民俗分野の調査研究 ・博物館学芸員実習、マイ・チャレンジ、インターンシップ	期間：通年にわたり適宜対応
博物館講座「石器づくり」	時期：調整	

